

「菊舎便り」 発刊に際し

菊舎顕彰会会長 磯部 多恵子

菊舎顕彰会の会員の皆様、平素は顕彰会活動に對しましてご協力をいただき、誠にありがとうございます。今年度はコロナ禍により顕彰会活動が思うようにできません。会場開催による行事ができないとしても、他に何か会員の皆様と交流する方法はないかと考え、この「菊舎便り」を発刊することと致しました。

近頃はインターネットの普及により、菊舎のファンは海外へと広がりつつあります。エモリー大学のクラウリー先生は菊舎のことを「菊舎は大変才能があつた人です。でもその才能を私利私欲のために使わず、己の人生を美しく生きるために使つた人です。そこにとても人間的な魅力を感じます。」とおっしゃっていました。

また、ごく最近のことになりますが、台湾の女性で張方禹(チヨウホウウ)という方とも知り合いになりました。菊舎研究ノートを購入していただいたことがきっかけですが、今ではメールで近況を報告しあうようになりました。彼女からの挨拶文も「菊舎便り」に収めさせていただきました。

このように、下関の山村に生まれた菊舎が、世界のあちこちにその存在を知られるようになりました。会員の皆様方の菊舎に対する思いは様々だとは思いますが、この顕彰会活動を通じて菊舎の魅力をより知っていただき、あるいはまた俳句を詠むことの楽しさ素晴らしさをより感じていただけたらという思いでこの冊子を制作いたしました。

最後になりましたが、コロナ禍が早く終息し、皆様方とまた元気に再会できますことを切に願っております。

菊舎便り

菊舎 田耕 として俳句

菊舎顕彰会



目次

一 「菊舎便り」発刊に際し	磯部 多恵子	1
二 今、私の好きな菊舎の一句	水野 純次	2
三 菊舎尼の愛した七絃琴の魅力	大隈 雅子	3
四 菊舎顕彰俳句大会に寄せて	平川 扶久美	4
五 偶然の中の引力に	平田 トシ子	5
六 ニックネームはピビアン	張 方禹	7
七 昼の俳句会に参加して	林 若代	9
八 夜の俳句会に参加して	古川 裕三	11
九 萩往還DVD撮影余滴	中村 佑	13
十 菊舎と西瓜	吉村 ひとみ	15
十一 菊舎の里から	磯部 清昭	17
十二 佐賀城下における菊舎の足跡	岡 昌子	19

十三 菊舎の生涯	21
十四 菊舎の句碑	23
十五 菊舎顕彰会の行事・活動	25
十六 菊舎の里 田耕の行事・風景	27
十七 編集後記	28

